

男子浦添22年ぶりV ハンドボール

女子は仲西V3

ハンドボール

(浦添市民体育館)

▽男子

浦添	美東	浦添	浦添	仲西	仲西
38	30	26	26	19	18
1721	1416	179	911	11	8
1512	1214	27	20	7	5
27	26	美	浦	神	西
東	西	仲	仲	森	西
西	神	西	西	森	西
24	25	19	18	19	19
1014	916	11	7	13	16
11	13	19	12	19	19
18	16	19	12	19	19
19	19	19	12	19	19
神	川	川	里	森	川

▽女子



男子決勝 浦添―美東 デイフェンスをかわし、シュートする浦添の川上勝太(25日、浦添市民体育館(桑原卓子撮影))

は、体調が万全でないエース上地涼奈の穴を全員でカバー。平安山笑奈主将は「涼奈の分も皆でカバーして頑張ろうと話していた。前半から自分たちのペースで落ちて試合できた」と振り返り、チーム全員でつかんだ勝利を喜んだ。

エースの穴を全員でカバー

仲西

○…女子3連覇の仲西

ハンドボール男子決勝は浦添―美東の顔合わせ。4月の春季選手権を制した浦添が、高さでパワーで圧倒した。序盤は競り合っ展開になった。川上勝太、下地涼奈らが、デイフェンスに切り込んで得点する浦添。対する美東も俊敏な動きを見せた。

高さ、パワーで圧倒

浦添、序盤から主導権

せ、山城翔を中心にゴールを狙った。平均身長で上回る浦添は、ゴールエリアの前に横一線に並ぶデイフェンスで壁をつくった。序盤はその隙間を突かれた形だが、すぐに修正。間を詰めて、シュートペースを奪った。攻撃は、相手ゴールキーパーの動きを見ながら、頭と力強く話した。(富里努)

チは「我慢しながらゲームコントロールができていた」と評価。「もつと伸びしろはある」とチームの成長に期待した。デイフェンスのミスを牽引した仲田好孝主将は「きょうの課題を改め、九州では自分たちがやってきたことを100%出してきたい」と話した。

相手ゴール前で3人がボールを回す、この大会から取り入れたという攻撃。パターン「センター3」で得点機を狙っていった。ポストプレーも使いながら、前半からリード。粘る神森を振り切った。

正面から切り込んで得点するなど活躍した池間泉紀は「一本一本を確実に決めていこうと思っていた。全員で攻めて勝つたので良かった」と笑顔を見せた。



女子決勝 仲西 神森 シュートに持ち込む仲西の平安山笑奈(浦添市民体育館)